

## 交通事故部での裁判におけるあなたの権利（日本語版）

(YOUR RIGHTS IN TRAFFIC COURT (Japanese ver.))

ここでは、イリノイ州の交通法規違反で訴追された場合の手続や権利について説明します。あなたが持っている権利について理解しておくことは重要です。裁判官は、あなたの事件について、個別に話を聞きます。あなたに対する訴追の内容、どのような判決が下されるのか、あるいはあなたが持っている権利の内容等、何らかの質問や疑問がある場合には、裁判官に対して質問をしてください。本ガイダンスを数分間読めば、交通事故の裁判手続についてより良く理解し、裁判所での時間をなるべく省くことができますでしょう。

### 正しい場所に正しい時間に行くことの重要性

交通違反切符の一番下の欄を見てください。赤く囲まれた枠の中に、あなたが裁判所への出頭を求められているか求められていないかが記載されている2つのチェックボックスがあります。”no court appearance required”という説明の隣のボックスがマークされている場合、法廷に出頭して良いという確認を交通事故書記官室 (Traffic Clerk) の窓口で裁判所書記官からもらっていない限り、法廷には出頭しないでください。交通違反切符が出頭を求めている場合には、あなたが法廷に入る前に窓口で確認をしない限り、裁判官があなたが出頭してくることを知らないため、法廷ではあなたの事件は呼び出されることはありませんし、裁判官が話を聞くこともありません。

### 法廷に入ってからの手続

裁判官は、あなたの名前と事件番号を読み上げます。あなたの名前が呼ばれたら、裁判官の前へと進んでください。最初に、裁判官は、訴追の内容と、あなたが有罪認定されるか有罪を認めた場合にあり得るペナルティー（刑罰）の内容を告げます。訴追の内容と可能性のあるペナルティーの内容を理解することはとても重要なことです。訴追の内容とペナルティーについて疑問がある場合には、このタイミングで裁判官に尋ねましょう。

### 弁護人を依頼する権利

裁判官があなたに対する訴追内容（複数ある場合もあります。）と可能性のあるペナルティーを説明した後、裁判官はあなたに、あなたが弁護人の依頼を希望するか、あるいは弁護人なしの本人で手続を進めることを希望するかを、尋ねます。

もしあなたが訴追されている違反内容が懲役刑を含むものである場合、あなたは絶対的な弁護

人依頼権を有します。もしあなたが「十分な資力ない」と考えられる場合、つまり、弁護人を雇う十分な収入または資金がない場合には、あなたが要求すれば、裁判官が弁護人を任命します。あなたが裁判官に弁護人の任命を依頼する場合、裁判官は、あなたの資力に関する宣誓供述書の提出を要請します。これは、あなたが裁判官による弁護人任命基準に適合するかどうかを裁判官が判断するために必要なものです。裁判官が弁護人を選任した場合でも、あなたは、シャンペーン郡に対して、当該弁護人の職務のための合理的な費用の支払をしなければならない場合があります。裁判所から命じられた費用の支払を怠った場合、法廷侮辱罪により懲役刑が課される可能性があります。弁護人依頼権について疑問がある場合には、裁判官に質問してください。個人で弁護人を選ぶために時間が必要な場合には、そのための時間が与えられます。

当該訴追内容が懲役の可能性がなく、罰金刑のみがありうる場合には、裁判官があなたのために弁護人を選任することはできません。この場合、あなたは弁護人を選任する権利を持っていますが、自身で弁護人を選任しなければなりません。弁護人なしで手続を進めることを希望する場合には、そのようにする権利もあなたは有します。

手続がさらに進行する前に、何らかについて弁護士との相談を希望する場合には、裁判期日にて、その旨を裁判官に伝え、相談のために最低でも1週間程度の時間を次の裁判期日前にもらうようにしてください。

### 有罪または無罪の申述の手続

弁護士との相談する時間を希望せず自ら裁判の手続を進めることを希望する旨を裁判官に述べた場合には、裁判官はあなたに、有罪である旨または無罪である旨を述べたいかどうかを確認します。有罪である旨を申述した場合、あなたは、トライアルと呼ばれる事実関係を証拠から認定する裁判手続をする権利を放棄し、すぐに判決を受けることに同意したことになります。したがって、裁判（以下、特別に断りがない場合、「裁判」とは、このような事実認定と判決からなる「トライアル」の手続をいいます。）に関するあなたの持つ権利を理解しておくことは、とても重要です。

### 陪審裁判を受ける権利

もし無罪の主張を希望する場合には、あなたには、陪審裁判を受ける権利があります。陪審裁判では、運転免許証保持者でかつシャンペーン郡の投票権を登録している人のリストから、12人の陪審が無作為に選任されます。陪審が選任されてから、陪審が証拠を調べ、合理的な疑いを超える程度にあなたが有罪であるかどうかを決定します。12人すべての陪審が合理的な疑いを超える程度に有罪を確信しなければ、あなたは有罪と認定されません。陪審裁判を希望する場合には、裁判官は事件をドケットコール (Docket Call) と呼ばれる準備手続の予定に付します。ドケットコールとは、弁護人または本人(あなた)が裁判所に出頭し、裁判の進行予定を決定する

ための手続です。もしあなたが弁護人を付けていない場合には、あなた自身がドケットコールに出頭しなければなりません。ドケットコールでは、裁判官が陪審裁判の日にちの予定を決定します。

陪審裁判を希望しかつ弁護人を付けていない場合には、あなた自身があなたを代理する弁護人のように行動しなければならないことに留意してください。この場合、陪審の選任手続、適用される法令を陪審に告知すること、および弁護人であれば従うべきすべての証拠や手続に関するルールを遵守することについて、あなた自身が責任を持たなければならない点に留意してください。

### 裁判官による裁判を受ける権利

あなたは、陪審裁判を受ける権利を放棄し、1人の裁判官のみによる裁判を受けることもできます。裁判官による裁判を希望する場合には、裁判所書記官室 (Circuit Clerk's Office) が裁判のスケジュールを決定し、その日時を郵便であなたに通知します。

もしあなたが訴追されている違反内容が懲役刑を含まず、かつ、交通違反切符が裁判所への出頭を求めるものでない場合、あなたは、法廷の外にある交通事件書記官室 (Traffic Clerk) の窓口で、裁判官による裁判を受けたい旨申立てることができます。

住所を変更した場合には、あなたの責任で、裁判所書記官室 (Circuit Clerk's Office) に書面にて新住所を通知しなければなりません。正しい受取人にその住所変更通知が届くよう、当該書面には、あなたの事件番号を記載してください。

### 裁判における権利

どのような裁判の形式をあなたが選択するかに関わらず、あなたには、つぎのような権利があります。まず、検察官が、あなたの有罪が合理的な疑いを超える程度に確からしいことを証明する責任を負っています。別の言い方をすれば、あなたには、無罪を証明すべき責任はありません。

つぎに、あなたには、あなたに不利な証言をする証人を観察しまたその証人の証言を聞く権利があります。そして、あなたはそのような証人に対して反対尋問を行う権利があります。つまり、あなたは、証人が正直にかつ正確に証言をしているかどうかをテストするため、適当な質問をすることができます。

また、あなたには、自分のために証拠または証人を申請する権利があります。あなたが希望する場合には、裁判期日に証人の勾引または証人の出頭の命令を出すよう裁判所に請求することができます。

さらに、あなたには、希望すれば、あなた自身のために証言する権利があります。しかし、あなたが証言を希望しない、または、事件に関する質問に答えない場合には、あなたは誰からも質問への答えを強制されません。また、裁判官も検察官も、あなたが証言をしないことだけをもって有罪だと推定することはできないことになっています。

### 有罪の申述をする権利

罰金のみ的事件において、上記のような権利をすべて放棄し、有罪であることを申述することを希望する場合には、あなたは有罪を申述することができます。その場合、いくら罰金が適当であるかを決定するための審理がすぐにその場で行われます。あなたは、罰金のほか、裁判関係費用を支払う必要があります。裁判官はあなたの当該訴追内容および交通違反履歴を尋ねることがあります。検察官は適当な罰金の金額を尋ねられることがあります。

適切な場合には、裁判所による監督（Court Supervision）に付してもらうことを裁判官に請求することができます。裁判所による監督の手續に付され、その期間が経過した場合には、今回の交通違反切符はあなたの交通違反履歴に残りません。また、あなたが裁判所による監督に付された場合には、罰金と裁判費用の支払の猶予期間を与えられます。あなたがその与えられた期間内にそれらの支払をしなかった場合、または、さらに別の交通違反切符をもらうことになった場合には、裁判所による監督の判決が取り消され、その結果、交通違反履歴に今回の違反事実が記録される可能性があります。

あなたの交通違反切符が裁判所への出頭を要求するものではなく、かつ、制限速度より時速20マイル超のスピード違反により訴追されていない場合であれば、裁判所による監督に付してもらう最も簡単な方法は（ただし、資格がある場合に限り、）、Traffic Safety Program というプログラムを受講する方法です。そのプログラムを受講する資格があるかどうかを確かめるには、その必要条件がリストされている登録フォームを裁判所書記官室（Circuit Clerk's Office）から取得することができます。

### 異議/撤回を申し立てる権利

あなたは、あなた自身がした有罪の申述の撤回を、その申述から30日以内に請求することができます。当該請求は書面にて、また、すべての理由を記載して行わなければなりません。請求の書面に記載されていないいかなる理由も、異議の申立のために用いられることはありません。有罪の申述の撤回が認められた場合には、破棄された交通違反切符が復活する可能性があります。また、このようなあなたへの判決に対する異議の申立にかかる書面の提出を、裁判に出頭した期日から30日以内に行わなかった場合には、あなたは異議申立の権利を失います。

権利の放棄および有罪の申述に関する書面 (日本語参考訳)  
(WAIVER OF RIGHTS AND GUILTY PLEA (Japanese ver.))

もしあなたが有罪の申述を希望する場合には、**本書面に署名してください。**

私は、弁護人を選任する権利、および、陪審裁判または裁判官による裁判を受ける権利を含むすべての私の権利について読み、理解しました。私は、異議申立の権利を除き、これらすべての権利を放棄することをここに希望します。私は、私の自由な意思に基づき、有罪をここに申述します。私は、本有罪の申述にあたり、誰からも強制されず、脅迫を受けず、また、強要もされていません。

訴追内容： \_\_\_\_\_

罰金額： \$ \_\_\_\_\_ および訴訟費用

(裁判官が罰金額を記入します。)

\_\_\_\_\_  
被告人署名 (あなたの署名)

\_\_\_\_\_  
日 付